



むらやままさひろ
村山正弘 議員

猛暑被害の米作支援
味の変わらぬ町内産規格外米を
学校給食に利用すべきだ

地産地消と食育面から給食に
規格外米の利用を実施していく



給食センターの炊飯施設

問 今夏の猛暑で「彩のかがやき」を中心に、町内の米作が県の「特別災害指定地域」となった。味の変わらぬ規格外米を上尾・桶川市は学校給食で利用しているが伊奈町もすべきだ。

答 JAあだち野「四季彩館」の供給体制が整い次第、給食に利用していく。

問 被害状況と県・町の補助はどうか。

答 町全体で推定80トンの収量減、品質面で「彩のかがやき」の8割が規

問 規格外米である。補助は対象農家に町で1/2ずつを負担し10アール当り6千540円である。

中部特定土地画整理地内の第一調整池について

問 溜まり水問題を解決すべきだ。

答 放置しておくとならば蚊の発生原因ともなるので、効果的な対策を検討する。



問 保育所関係について

問 民間3保育所を加え6保育所となるが待機児童解消になるのか。

答 3歳迄の低年齢児に受け入れ予定枠をオーバーしており低年齢児に入所できない可能性がある。

上尾・伊奈広域事業ゴミ処理施設建設について

問 上尾市と併せて建設基金を設立すべきだ。

答 巨額な経費なので検討する。

町の考えを問う!

一般質問に5人が登壇

12月定例議会では、5人の議員が一般質問を行いました。その中から主な質疑応答の要旨を、質問した議員の要約により掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧いただけます。(2月下旬掲載)

▶伊奈町議会ホームページ
<http://gikai02.kaigiroku.jp/ina/>

ページ	質問議員	質問事項
7	村山正弘	<ul style="list-style-type: none"> 保育所関係について 県の特別災害地域指定と対応について 中部特定土地画整理地内の第一調整池について 上尾・伊奈広域事業ゴミ処理施設建設について
8	山本重幸	<ul style="list-style-type: none"> 伊奈町の将来の姿は 丸山駅を核としたまちづくりは 行政改革について 南部地区の問題として
	水上邦雄	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険について 子宮頸がん・ヒブ・肺炎球菌ワクチン接種について 伊奈町農業を持続させるために 丸山のみどりの保全と環境整備を いな穂街道の交通安全対策について
9	大沢 淳	<ul style="list-style-type: none"> 観光行政のあり方と小規模小売店の支援 障害者計画の具体化と発展 民間保育所の参入にあたって 今後の体育施設の整備計画
	永末厚二	<ul style="list-style-type: none"> 行政改革について 教育委員会事務点検評価報告書について 教育行政法4条4項について

議会を傍聴しませんか

次の議会は

次回の定例議会の開催予定日は
2月28日(月)です。詳しい日程は、
2月下旬に決定します。



町制施行四十年伊奈町の将来の姿は
北足立郡伊奈町はいつまでつづく

合併問題も町の重要案件の
一つと認識している



やまもと しげゆき
山本重幸 議員

問 町制施行四十周年、この間、合併の機運が高まった時期もあったが、不調に終わった。伊奈町が市制に移管できるにはほど遠い感を否めない。町長の合併についての見解は。

答 合併問題は、町の重要案件のひとつであり、その機運を見逃さず、判断を誤ることのないよう対応して参りたい。

丸山駅を核とした
まちづくりを

問 駅を核としたまちづくりは町政の基本である。残されている丸山駅周辺整備をいかに考えている

か。また、県の史跡に指定されて七十六年、伊奈氏屋敷跡」の管理保存についても早急に方向性を見出す作業に取り掛かるべきと思うが。

答 議員の指摘された通りである。町部局と教育委員会が一体となり、地元の方々のご意見を伺い、県の指導・意見を仰ぎながら方向性を見出して参りたい。

(他に、行政改革については、職員の意識改革の必要性、南部地区の問題として道路整備を中心に質問し、前向きな答弁があった。)



◀ 町制施行40周年記念式典
アトラクション
伊奈町3中学校吹奏楽部の合同演奏

いな穂街道と東北新幹線下
交差点に信号機の設置を

3月末完了予定である

栄地区内の事故の多い箇所、フェンス後退も視野に入れ調査していく



みずかみくにお
水上邦雄 議員

支払いのできる

国保税に

問 法定減免6割・4割を7割5割2割に。

答 低所得者対策として有効と認識している。税率や賦課限度額等の見直しのなかで検討していく。

問 一部負担金・保険税の減免・猶予制度の明確化と周知徹底を。

答 被保険者の実態に即し、きめ細やかな対応を心がける。

問 子宮頸がん・ヒブ・肺炎球菌ワクチン接種時期・方法の検討は。

答 国・県から詳細な内容示された段階で接種方法検討していく。

丸山の環境整備を

町農業の維持のために

問 猛暑による農作物被害大きい。支援措置を。

答 コメ、業者販売数値が明確なものの対象となる。対象以外の品目は難しい。

問 農業研修者の今後は。

答 新規就農者奨励金制度を活用し自立に向け支援していく。

問 丸の内地区の今後は。

答 地元住民の意向を十分に踏まえ検討していく。

問 丸山駅エレベーターの早期設置を。

答 早期設置に向け取り組んでいる。



信号機設置予定の交差点

待機児童の解消は

低年齢児で受け入れ枠をオーバーしている



おおさわ じゅん 議員

地域の小売店の支援策

問 寿さくら通り商店会の両面カラー舗装化を。答 引き続き県に要望する。

障害者計画の発展

問 施設の現状と課題は。答 町は「まっぼっくり」1箇所だけ、サービス利用の支援に努めたい。問 県のデイケア事業「まっぼっくり」の今後は。答 平成23年度までだったが、24年度以降の状況は確定していない。

民間保育所の参入

問 実績のない法人はど



大型店の出店で影響を

問 待機児童の解消と入所率の改善は。答 入所率は現在116%、公立は100%に抑えたい。

今後の体育施設の整備

問 利用者の多い武道館の今後は。答 経年劣化が著しく、既存体育施設への利用を促し、近年中の解体を検討している。

問 テニスコートの利用者の要望は。答 丸山スポーツ広場のテニスコート2面を降雨後でもすぐ使用できる人工クレーに改修する。

行政改革「パブリックコメント制度とパブリック・インボルブメントの違いは

パブリック・インボルブメントは素案策定段階から町民の意見をきくもの



ながすえ こうじ 永末厚二 議員

問 今回、新たに計画段階から住民を参加させるパブリック・インボルブメントの導入を掲げている。先進的な考え方で評

価できる。パブリック・インボルブメントと町民コメント制度の関係は。答 町民コメント制度が、素案に対するご意見をい



先生・生徒（イメージ）

ただく制度に対し、パブリック・インボルブメントは、素案策定段階から町民の方々にご意見をいただく、あるいは策定主体として関与していただく仕組みである。

パブリック・インボルブメントの活用は現段階では具体的な実施時期、適用範囲は決めていない。

教育委員会事務点検評価報告書について、評価の意義についてどう考えているか

問 平成19年に法律の一部が改正され、教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出、公表することとなったが、評価の意義は。答 この点検・評価報告書作成により、町教育委員会の活動の透明性を高めるとともに、より一層の効果的な教育行政の推進が図れるものと考えており、評価は意義のあるものと認識している。